
哀と愛～守りたいもの～

アイリーン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

哀と愛を守りたいもの

【Nコード】

N2002M

【作者名】

アイリーン

【あらすじ】

組織は潰したものの、薬のデータを失って元には戻れなくなった望みを失ったコナンは、江戸川コナンとして生きていくことを決めた。10年後、帝丹高校に通ういつもの少年探偵団のメンバー。10年という時間は、コナンと蘭をどう変えたのか？初めての「哀（新志）小説ですが、精一杯頑張ります！！

第1話 作者よりご挨拶？

はじめまして、でもないですが、アイリーンです。数少ない私の駄文の読者様に感謝しております。

さて、タイトルを見てわかるように、今回、初めてのコ哀（新志）に挑戦することになりました。

私はどちらかという和新蘭派なのですが、名探偵コナンという物語的にはコ哀（新志）の方がおもしろい、と思い、今回初めてのコ哀小説に挑戦することとなりました。組織のことがほとんど尻尾さえも掴めていないのにもかかわらず、つぶしてハッピーエンド（新蘭）はどうなのかと……それじゃあ普通に近場（幼なじみ）で済ましますぎだろ！？と……

哀ちゃんとコナンくんは、秘密を共有する仲なので面白い展開になりそうだし、と思います。

みなさんは、何派ですか？最終的にはどうなって欲しいと思いますか？また、今回初めてコ哀小説を始めるにあたって、登場させて欲しいキャラとかいましたらお知らせください。

それでは、これからもこの小説も他の小説も応援よろしくお願いいたします

アイリーン

第2話 組織は壊滅。だが……（前書き）

今回も短いです。

第2話 組織は壊滅。だが……

もう元には戻れない、とわかった時。

組織を壊滅させることはできたがその代わりに薬のデータを永久に
といていいほど失った時。

オレ、江戸川コナンは必死に涙をこらえながら声にならない声で灰
原を責めた。

『なぜだ？なぜ？ここまでやったのに、どうしてだ？』

『しかたないじゃない。薬を手に入れる代わりに命を失ったとして
も、あなたはその体で、魂で誰に会いに行くというのかしら？』

『……………つくそつっ！！』

そしてそれからおよそ2カ月が経過後……

工藤新一のお葬式が静かに厳かに行われることになった。

第2話 組織は壊滅。だが……（後書き）

コ哀は初挑戦なので、コナンさんの哀ちゃんに対する言葉遣いとか
でおかしいところがありましたら、遠慮なくお申し出ください。

第3話 危難失踪（前書き）

長らくお待ちせしました。大変長く更新ができなくてすみません。危難失踪という言葉の意味と漢字、間違っているでしょうか？感想とご指摘お待ちしています。

第3話 危難失踪

灰原「工藤君のお葬式？」

負傷者や死傷者が多数出たものの、無事に組織を壊滅させることができたコナンは、それから1週間がたった頃、突然そう切り出した。流れるようにパソコンのキーボードを打つ手を止めて答える灰原。

コナン「そう。オレ、工藤新一のお葬式だよ」

灰原の瞳は大きく見開き、激しく動揺している。

体が震え、急激に体中の血が逆流する。

灰原「ど……どうして!？」

コナン「解毒剤が永遠にできないとわかった今、もう蘭にオレ、工藤新一を待ってもらう必要はねえんだよ……」

灰原はコナンに詰め寄り、肩を激しく掴む。

灰原「でも、だからって!? だからって自分の葬式をする必要なんであるの!? 永遠に戻れないなんて簡単に諦めていいの!？」

コナンは静かに俯き、うなだれ、声にならないかすれて胸の底から今にも張り裂けそうな声を出す。

コナン「だって……だって……もう、蘭の寂しそうなつらそうな今にも泣き出しそうな顔はみたかぁねえんだよ……オレは、もう2度と工藤新一には戻れない。アポトキシン4869のデータを失った今は……だから、もう蘭を自由にしてやるつもりなんだよ。オレと……いつがらみから抜け出せてやるのは、今しかねえんだよ……」

灰原「そ、そう……それで?なんで自分の、工藤新一の葬式をやるの?死体は?私はできないわよ?」

コナン「危難失踪」

灰原「えっ?」

コナンの肩をコナンが痛がる程掴んでいた灰原は自分の手を離し、コナンの言葉を待つ。

(彼女を諦めるっていつの!?工藤君らしくないわね。そんな弱いあなただったかしら……!?じゃあ、なんで工藤君!?まさか……まさか私のこと……!?いや、まさかね……)

コナン「ん？どうした、灰原？」

灰原「……なんでもないわよ」

コナン「……？」

灰原（相変わらずごうごうということには鈍いわね、工藤君……）

コナン「まあいいけど……」

コナンは息を整え、先程中断された話の続きを始める。

コナン「危難失踪。生きているのが難しいと判断される状況にある時、およそ2カ月程度で死亡した、と判断されるものだ。当然、工藤新一の体はないから遺体なしの葬式になるけど……あいつにはもうオレを待たないでいいように解放してやりてえんだよ……あいつには、幸せになってほしいんだ……」

灰原「そう……本当にいいのね？」

コナン「ああ……オレの父さんと母さんにも協力してもらわないといけないな。1人息子の遺体なき葬式を演じてもらわなきゃいけないし……」

そしてすべての準備を整え、2カ月後……

工藤新一のお葬式が厳かに、泣き噉る声で始まりを告げた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2002m/>

哀と愛～守りたいもの～

2010年10月10日09時20分発行